

令和2年度 文京区立小日向台町小学校 授業改善推進プラン

第3学年

	指導上の課題	指導の在り方	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を正確に読み書きする力に課題がある。 書く内容の中心を明確にし、段落相互の関係を意識して文章を構成することに課題がある。 文学的文章において、登場人物の行動や気持ちについて、叙述を基に捉えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 正確に読み書きすることができるように繰り返し指導する必要がある。 はじめ・中・終わりの構成の仕方を意識させ、順序立てて文章を構成できるようにする指導が必要である。 登場人物の、行動や会話、様子を探し、気持ちを想像することが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字を学習する際に熟語、書き順や間違いやすい部分を細かく指導する。朝学習で、漢字練習の時間を設け、定着を図る。 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくりながら、構成させていく。構成のポイントを示し、児童自らが確かめられるようにする。 登場人物の心情が分かる言葉を探し、サイドラインを引かせ、その言葉から気持ちを想像させる。心情を表や図などにまとめることで、心情の変化を捉えられるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料にある地図やグラフ等を読み取る学習に課題がある。 区の土地利用の様子を地形的な条件や社会的な条件と関連づけて考えることに課題がある。 様々な資料から、情報を適切に調べまとめる力を身に付ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図やグラフを見て特徴を捉えさせる指導が必要である。 地図や資料を有効に活用し、調べたりまとめたりする中で事象や人々の相互を関係づけて指導することが大切である。 どんな情報が必要かを考え、調べ選択して活用することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 方位は身体を使ったり、地図やグラフは指さしや印を付けたりしながら1つずつ確認する。地図記号カードを使って繰り返し学習する。 実際に見たり聞いたりしたことから学習の課題を立てていけるよう、話し合いの時間を十分に取る。社会科の学習が実生活と結びついていることが感じられるよう、地域の学習環境や教材を生かし、学習計画を立てる。 情報の必要性を感じさせながら、具体的に例を示し、情報活用能力の育成を図る。
算数	<ul style="list-style-type: none"> たし算、引き算、かけ算など、基礎学力に個人差がある。 時刻と時間を求める問題解決能力に課題がある。 文章問題の題意を理解し解決することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 習熟度別学習を進め、基礎基本の定着を図る指導が大切である。 文字盤や数直線を用いて求め方を考えられるようにする指導が大切である。 問題で何を問われているかを文章からしっかりと捉える力を身に付ける指導が大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルを活用したり、既習事項を宿題に出したりして、習熟を図る。 思考力を高めるために、電子黒板を有効に活用しながら指導していく。 題意を把握するために、問題を音読させ、分かっていることや求めることを明らかにする習慣を身に付けさせる。その際、既習の学習事項を生かした考え方を示したり、題意に即したテープ図の書き方を指導したりしながら、基礎的な知識や技能を身に付けさせる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象について、問題を見出すことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象に関心をもたせ、差異点や共通点を基に、問題を見出させることが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を多く取り入れる。 事象提示を工夫し、差異点や共通点を基に問題を見出すことができるようにする。

音 楽	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴を意識して聴いたり、感じ取ったことや想像したことを生かして歌おうとしたりすることに対する意欲が高いが、どのように歌うかについて考えをもつことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように歌いたいかについて言葉や音楽で伝え合うことと、実際に歌ってみることを繰り返しながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するように促すことが重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲を聴いて感じ取ったことについて個人で考える時間や友達と話し合う時間を十分に確保する。様々な表現方法を試すなどして、歌唱表現を工夫する楽しさを味わわせ、思いや意図を膨らませるようにして、どのように歌うかについて考えをもつことにつなげる。
図 工	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料を使って自分たちの作品を楽しく表現することに変意欲的である。しかし技術面では、道具の使い方を正しく身に付け表現することに個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の発想を生かすことができるよう道具の基本的な扱い方や材料の工夫から表現できる指導を行うことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が道具の基本的な扱い方を毎時間丁寧に示す。各題材は以前に扱ったものについても、繰り返し取り扱い応用できる活動内容にする。必要な技術は全体に向けてポイントを絞った指導をする。
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な運動能力に個人差がある。 ・運動の仕方を考えたり工夫したりして取り組むことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びを通して体の使い方を覚え、運動能力が身に付くよう指導していく必要がある。 ・工夫の仕方や安全な動き方について考えたり理解したりできるようになる指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら取り組める運動遊びの時間を計画的に設ける。 ・よい動きのポイントを示し、めあてをもたせて運動に取り組めるようにする。 ・コーディネーショントレーニングを取り入れる。 ・教師や友達の動きの真似をし、安全で楽しい動き方の工夫につなげることができるようになる。
総 合	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて学ぶ学習であるため、総合的な学習の時間の学び方を身に付けるまでに時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を振り返ったり、身近にある地域の環境を活用したりして課題を見出せるよう、指導計画を立てることが大切である。 ・児童が学習に主体的・協働的に取り組んでいけるよう指導の工夫をすることが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習する事柄を通して、児童が主体的に学び続けたり、学び方の基礎を身に付けたりすることができるよう、授業の導入を工夫する。見学やインタビュー活動等、仲間と協働して課題を解決する学習活動を積極的に取り入れる。 ・教師が総合的な学習の時間の学び方（課題の設定—情報の収集—整理・分析—まとめ・表現）を理解し、年間の学習計画と総合的な学習の時間で学ぶ事柄を相互に関連付け、教科横断的な学習の基盤を作り、指導計画を立てる。
外 国 語 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的にコミュニケーションをとる態度に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手へ配慮し、距離を確保しながら、主体的にコミュニケーションを図ることができるようにすることが大切である。 ・本時で扱う会話表現が、日常のどの場面で使うのかが分かるように、授業の工夫をすることが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を用いた言語活動を通して、体験的に楽しみながらコミュニケーションを図れるようにする。単元の中で段階的にめあてを設定し、歌やチャンツ、アクティビティの中で動作等を取り入れて行う。学習のめあてや対話時のポイント等の振り返りを行い、次に活かせるようにする。 ・距離を取り、声量に配慮しながら1対1の対話・グループ内での対話など、対話の機会を多く取り入れる。また、会話表現を使ってアクティビティを行うときは、相手意識や目的意識をもたせ、日常の会話表現に近い状況を設定して行う。

道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを自分のこととして考え、生活の中で生かしていくことに課題がある。 ・自分の考えを基にして、友達同士、気持ちを伝え合ったり、話を広げたり深めたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常のどの場面でいかすことができるかを、具体化して指導する必要がある。 ・自分の考えを広げ深めるための、補助発問を工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の類似した場面を想起させたり、自身の日常の体験を想起させたりしながら実践できるようにする。 ・児童の考えを、板書等で整理しながら、考えを広げ深めるための発問を選択し、問いかける。考えを揺さぶりながらより深く考えさせる。
----	--	---	---